

ザファテック錠100mg
ザファテック錠50mg
ザファテック錠25mg

【この薬は？】

販売名	ザファテック錠 100mg Zafatek Tablets 100mg	ザファテック錠 50mg Zafatek Tablets 50mg	ザファテック錠 25mg Zafatek Tablets 25mg
一般名	トレラグリプチンコハク酸塩 Trelagliptin Succinate		
含有量 (1錠中)	トレラグリプチン コハク酸塩 として133mg (トレラグリプチンと して100mg)	トレラグリプチン コハク酸塩 として66.5mg (トレラグリプチンと して50mg)	トレラグリプチン コハク酸塩 として33.25mg (トレラグリプチンと して25mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、糖尿病用薬の中の、選択的DPP-4（ジペプチジルペプチダーゼ4）阻害剤と呼ばれるグループに属する薬です。

- ・この薬は、血糖値を調節するホルモンであるインクレチンを分解する酵素を阻害し、血糖値に応じてインスリン(血糖を下げる働き)の分泌を促進するなどして、血糖コントロールを改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。

2型糖尿病

- ・この薬は、糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を行ったうえで効果が不十分な場合に限り、医師の判断により処方されます。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・重いケトアシトシス状態(吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸)の人、糖尿病性の昏睡状態の人、糖尿病性の昏睡状態になりそうな人、1型糖尿病の人
- ・重い感染症にかかっている人、手術をした人、または手術の予定がある人、大きな怪我をしている人
- ・過去にザファテック錠に含まれる成分で過敏症のあった人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・低血糖を起こしやすい次の人
 - ・脳下垂体機能に異常のある人、副腎機能に異常のある人
 - ・栄養状態の悪い人、飢餓状態の人、食事が不規則な人、食事が十分に摂れていない人、衰弱している人
 - ・激しい筋肉運動をしている人
 - ・飲酒量が多い人
- ・過去に腹部を手術したり、腸閉塞になったことがある人
- ・腎臓に中等度以上の障害がある人、透析を受けている末期腎不全の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ザファテック錠 100mg	ザファテック錠 50mg	ザファテック錠 25mg
一回量	1錠	1～2錠*	1～4錠*
飲む回数	1週間に1回、同一曜日		

* 1回量100mgですが、腎臓に中等度の障害がある人は1回量50mg、腎臓に高度の障害がある人または透析を受けている末期腎不全の人は1回量25mgです。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

気がついた時に、1回分を飲んでください。決して2回分を一度に飲まないでください。その後はあらかじめ定められた曜日に飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・他の糖尿病薬と併用した場合に低血糖があらわれることがあります。患者さんおよびご家族の方は、次のことを十分に理解できるまで説明を受けてください。
 - ・低血糖症状：
お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下など
 - ・低血糖症状があらわれた場合の対応：
通常は糖質を含む食品や砂糖をとってください。
 - ・ α -グルコシダーゼ阻害剤（アカルボース、ボグリボース、ミグリトール）を併用している場合は、ブドウ糖を飲食してください。
- ・特にスルホニルウレア剤またはインスリン製剤を併用した場合、低血糖症状が起りやすくなるため、医師の判断で、スルホニルウレア剤の飲む量またはインスリン製剤の使用量が減らされることがあります。低血糖症状の一つとして意識消失を起こす可能性もありますので、糖尿病用薬を飲んでいることを必ずご家族やまわりの方にも知らせてください。
- ・急性膵炎（すいえん）（初期症状として、持続的なおなかの激しい痛み、嘔吐（おうと）など）があらわれることがあります。このような症状があらわれた場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- ・この薬は1週間に1回飲む薬であり、使用中止後も作用が持続するので、副作用の発現や血糖値に気をつけてください。異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。
- ・この薬を使用中は、定期的に血糖の検査が行われることがあります。この薬を2～3ヵ月使用しても十分な効果が得られない場合は、より適切な治療へ変更されることがあります。
- ・高所作業中や自動車の運転中などに低血糖をおこすと事故につながりますので、特に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は、医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
類天疱瘡 るいてんぼうそう	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ(水疱(すいほう))が多発する、じんま疹(しん)の様な痒(かゆ)くて赤い発疹(ほっしん)をともなうことがある、ごくまれに粘膜が癒着することがある
急性膵炎 きゅうせいすいえん	吐き気、嘔吐、激しい上腹部の痛み、背中の痛み、お腹にあざができる、お腹が張る
腸閉塞 ちょうへいそく	便やおならが出にくい、吐き気、嘔吐、お腹が張る、腹痛

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、疲れやすい、けいれん
頭部	意識の低下
顔面	血の気が引く
口や喉	吐き気、嘔吐
腹部	お腹がすく、激しい上腹部の痛み、お腹が張る、腹痛
背中	背中の痛み
手・足	手足のふるえ
皮膚	全身の皮膚に少し押した程度では破れない大小の水ぶくれ(水疱)が多発する、じんま疹の様な痒くて赤い発疹をともなうことがある、お腹にあざができる
便	便やおならが出にくい
その他	ごくまれに粘膜が癒着することがある

【この薬の形は？】

販売名	ザファテック錠 100mg	ザファテック錠 50mg	ザファテック錠 25mg
パッケージ 付きPTP			
形状	両面割線入り フィルムコーティング 錠 	フィルムコーティング 錠 	フィルムコーティング 錠 
大きさ	長径11.0mm 短径5.6mm	長径8.2mm 短径4.7mm	直径6.1mm
厚さ	3.8mm	3.1mm	3.3mm
重さ	187mg	93mg	93mg
色	淡赤色	淡黄赤色	黄色
識別コード	ⒶD389	ⒶD388	なし
製剤表示	なし	なし	ザファテック25

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ザファテック錠 100mg	ザファテック錠 50mg	ザファテック錠 25mg
有効成分	トレラグリプチンコハク酸塩		
添加剤	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール6000、三二酸化鉄	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、マクロゴール6000、酸化チタン、三二酸化鉄、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ	D-マンニトール、結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、フマル酸ステアリルナトリウム、ヒプロメロース、酸化チタン、黄色三二酸化鉄、カルナウバロウ

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：帝人ファーマ株式会社 (<https://www.teijin-pharma.co.jp/>)

メディカル情報グループ

フリーダイヤル：0120-189-315

受付時間：平日（当社休業日をのぞく）

9時00分～17時00分